

令和2年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(防衛省 0 2 - ①)

施策名		ハイレベル交流・政策対話等の推進			担当部局名	防衛政策局、人事教育局、統合幕僚監部			
施策の概要		我が国にとって望ましい安全保障環境を創出することは、我が国の防衛の根幹に関わり、また、我が国防衛そのものに資する極めて重要かつ不可欠な取組であるとの認識の下、自由で開かれたインド太平洋のビジョンも踏まえつつ、二国間・多国間の防衛協力・交流を一層推進する。特に、ハイレベル交流、政策対話、軍種間交流に加え、自衛隊と各国軍隊との相互運用性の向上や我が国のプレゼンスの強化等を目的として、地域の特性や相手国の実情を考慮しつつ、共同訓練・演習、装備・技術協力、能力構築支援といった具体的な取組を各軍種の特性に応じ適切に組み合わせて、戦略的に実施する。こうした防衛協力・交流の意義を踏まえ、より相互に連携し、具体的かつ踏み込んだ取組を行うべく業務要領の改善、体制の整備、制度の見直し等を進めるとともに、部隊運用に際して、防衛協力・交流に関する所要を一層反映していく。また、取組を実施するに当たっては、関係府省との連携、諸外国や非政府組織、民間部門等との連携を図るとともに、取組について戦略的に発信する。			政策体系上の位置付け		安全保障協力の強化 (安全保障協力の強化)		
達成すべき目標		二国間・多国間におけるハイレベル交流、政策対話、軍種間交流等の実施			目標設定の考え方・根拠	【目標設定の考え方】 大綱に従い、自由で開かれたインド太平洋というビジョンを踏まえ、地域の特性や相手国の実情を考慮しつつ、多角的・多層的な安全保障協力を戦略的に推進する。 【根拠】 大綱、中期防		政策評価実施予定時期	令和4年8月
測定指標		目標			実績	測定指標の選定理由及び目標(水準・目標年度)の設定の根拠			
①	ハイレベル交流のみならず、部隊間交流を含む様々なレベルで二国間・多国間の防衛協力・交流を多層的に推進	二国間・多国間における防衛首脳などハイレベルの交流			令和5年度	別紙	・中期防において次のとおり示されていることから、これらの取り組み状況を測定指標として設定。 Ⅲ 自衛隊の能力等に関する主要事業 5 安全保障協力の強化 我が国にとって望ましい安全保障環境を創出することは、我が国の防衛の根幹に関わり、また、我が国防衛そのものに資する極めて重要かつ不可欠な取組であるとの認識の下、自由で開かれたインド太平洋のビジョンも踏まえつつ、二国間・多国間の防衛協力・交流を一層推進する。特に、ハイレベル交流、政策対話、軍種間交流に加え、自衛隊と各国軍隊との相互運用性の向上や我が国のプレゼンスの強化等を目的として、地域の特性や相手国の実情を考慮しつつ、共同訓練・演習、装備・技術協力、能力構築支援といった具体的な取組を各軍種の特性に応じ適切に組み合わせて、戦略的に実施する。 こうした防衛協力・交流の意義を踏まえ、より相互に連携し、具体的かつ踏み込んだ取組を行うべく業務要領の改善、体制の整備、制度の見直し等を進めるとともに、部隊運用に際して、防衛協力・交流に関する所要を一層反映していく。また、取組を実施するに当たっては、関係府省との連携、諸外国や非政府組織、民間部門等との連携を図るとともに、取組について戦略的に発信する。		
		二国間・多国間における防衛当局間の定期協議など							
		二国間・多国間における部隊間の交流行事を通じた相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進							
		二国間における留学生の交換							
		二国間・多国間における研究交流							
		多国間における安全保障対話等							
達成手段(開始年度)		予算額計(執行額)			当初予算額	関連する指標	達成手段の概要等		令和2年行政事業レビュー事業番号
		29年度	30年度	令和元年度	2年度				
(1)	UH-1Hの部品等のフィリピンへの移転に伴う技術情報の移転支援(H31)	0 (0)	0 (0)	29 (20)	0	1	フィリピンへ移転するUH-1Hの部品等について、フィリピン空軍が適切に使用できるよう支援し、フィリピン側がUH-1Hを持続的に運用し、人道支援・災害救援能力等を向上させ、アジア太平洋地域の安全保障環境の向上を目指す。 【「新経済・財政再生計画」(骨太方針2018)及び中期防衛力整備計画(令和元年度～令和5年度)を踏まえ、各種取組を推進し、引き続き防衛力整備の一層の効率化・合理化を図るものであり、本事業のうち、効率化への取組によって縮減効果が見込まれる事業を予算計上することにより、縮減見込額の累計額が増額される。】	0287	
(2)	教育訓練履修給付金(H10)	101 (99)	100 (98)	111 (107)	135	1	教育訓練履修給付金は、開発途上国の国防担当政府機関が、防衛省の教育訓練機関に財政上の懸念なく容易に留学生を派遣できる環境を整備することにより、両国防衛当局間の相互理解・信頼醸成を促進し、最終的に我が国の安全保障上の利益に資することを目的とした制度である。 【教育訓練履修給付金は、開発途上国の国防担当政府機関が防衛省の教育訓練機関に財政上の懸念なく容易に留学生を派遣できる環境を整備することにより、両国防衛当局間の相互理解・信頼醸成を促進し、最終的に我が国の安全保障上の利益に資することを目的とした制度である。】	0328	
(3)	ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援(H28)	68 (65)	80 (70)	70 (61)	67	1	ジブチ軍工兵部隊の災害対処能力を強化し、防衛当局間の関係強化を通じた二国間の相互理解・信頼醸成の促進を図ることで、ジブチ拠点の長期的・安定的な使用のための基盤を確保する。	0329	

(4)	ハイレベル政策的交流 (S45)	218 (179)	242 (230)	245 (188)	276	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。 その中において、ハイレベル政策的交流は、他国とのハイレベル(防衛大臣、副大臣、大臣政務官、事務次官、防衛審議官、統・陸・海・空幕長)同士による対話や相互訪問を行うことにより、直接的に相互の信頼、協力関係の充実・強化の増進を図ることを目的としている。また、今後の両国の防衛協力・交流についての具体的方向性を決定している一方で、ハイレベル同士の友好関係の形成や認識の共有も行われており、防衛当局者間の信頼関係の強化にも寄与している。	0330
(5)	実務レベル政策的交流 (H2)	141 (164)	192 (131)	108 (163)	108	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。 その中において、実務レベル政策的交流は、ハイレベルの対話・交流を基礎として、国防政策の実務を担当する企画立案者同士が継続的に直接意見交換をすることで、当該国との相互の信頼・協力関係の充実・強化の増進に寄与することを目的としている。実務レベル同士の交流は、ハイレベル同士の対話・交流と比べ、より実務的・実践的な意見交換が行われており、具体的な施策の実現に大きく寄与する。	0331
(6)	部隊レベル対話(S44)	153 (51)	155 (45)	45 (45)	52	1	インド太平洋地域の安全保障環境の一層の安定化を図るためには、ハイレベル、実務者レベル、部隊レベル、留学生や研究者のレベルといった様々なレベルにおけるそれぞれの交流を総合的に推進することで、二国間・多国間の信頼醸成を行っていくことが重要である。 その中において、部隊間交流は、部隊間の共同訓練や交流事業などを通じて相互の信頼・協力関係の充実・強化の増進を図ることを目的としている。	0332
施策の予算額・執行額		681 (681)	769 (574)	608 (584)	638	施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの) 中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)(平成30年12月18日国家安全保障会議決定及び閣議決定) III-5安全保障協力の強化		

※達成手段の令和2年度行政事業レビューシートは、中間公表段階のものである。

令和2年度実施施策に係る政策評価の事前分析表(別紙)

(防衛省02-⑱)

施策名	ハイレベル交流・政策対話等の推進
-----	------------------

測定指標	目標	施策の進捗状況
------	----	---------

①ハイレベル交流のみならず、部隊間交流を含む様々なレベルで二国間・多国間の防衛協力・交流を多層的に推進

二国間・多国間における防衛首脳などハイレベルの交流

●令和元年度においては、以下のとおり交流を実施した。

【オーストラリア】防衛相会談(6月、11月)、第6回日米豪シニア・レベル・セミナー(8月)(統幕長)、第7回日米豪シニア・リーダーズ・セミナー(8月)(陸幕長)、空軍本部長訪日(9月)、国軍司令官訪日(11月)、防衛相電話会談(10月、10月、12月)、日米豪防衛相会談(6月)

【インド】防衛相会談(9月、11月、令和2年1月)、防衛相電話会談(10月、令和2年1月)、陸幕長インド訪問(10月)、外務・防衛関係会合「2+2」(11月)、陸軍参謀長訪日(12月)、統幕長インド訪問(令和2年1月)、海幕長インド訪問(令和2年2月)

【インドネシア】国防次官訪日(10月)、防衛相会談(11月、12月)

【ベトナム】防衛相会談(5月)、国防次官訪日(10月、令和2年2月)、防衛審議官ベトナム訪問(11月)、海幕長ベトナム訪問(12月)、統幕長ベトナム訪問(令和2年3月)

【シンガポール】防衛相会談(5月、11月)、海幕長シンガポール訪問(5月)、統幕長シンガポール訪問(6月)、空幕長シンガポール訪問(10月)、国防次官訪日(10月)、防衛審議官シンガポール訪問(令和2年2月)

【フィリピン】防衛相会談(4月、11月)、空幕長フィリピン訪問(6月)、国防次官訪日(10月)、防衛審議官フィリピン訪問(11月)、参謀長訪日(12月)

【タイ】防衛審議官タイ訪問(4月)、統幕長タイ訪問(8月)、陸幕長タイ訪問(9月)、防衛相会談(11月)、防衛審議官タイ訪問(令和2年3月)、統幕長タイ訪問(令和2年3月)

【カンボジア】防衛審議官カンボジア訪問(7月)、国防長官訪日(10月)、陸幕長カンボジア訪問(令和2年2月)

【ミャンマー】国軍司令官訪日(10月)、国防副大臣訪日(10月)、防衛相会談(11月)

【ラオス】防衛副大臣会談(10月)、国防次官訪日(10月)、防衛審議官ラオス訪問(令和2年3月)

【マレーシア】海軍参謀長訪日(6月)、空幕長マレーシア訪問(10月)、国防事務総長訪日(10月)、防衛相会談(12月)、防衛審議官マレーシア訪問(令和2年2月)

【ブルネイ】国防次官訪日(10月)、防衛審議官ブルネイ訪問(令和2年3月)

【韓国】防衛相会談(11月)、日米韓防衛相会談(6月、11月)、日米韓参謀総長級会談(10月)、日米韓参謀総長級テレビ会談(11月)

【英国】空幕長英国訪問(7月)、国防事務次官訪日(9月)、防衛相電話会談(11月)、空幕長英国訪問(1月)

【フランス】陸軍参謀総長訪日(4月)、防衛相会談(11月、令和2年2月)、空幕長フランス訪問(令和2年1月)

【カナダ】防衛相会談(6月、令和2年2月)、陸幕長カナダ訪問(10月)、空軍司令官訪日(令和2年2月)

【ニュージーランド】大臣政務官ニュージーランド訪問(6月)、陸軍司令官訪日(9月)、防衛相会談(11月)、空軍司令官訪日(11月)

【NATO】軍事委員長訪日(6月)、防衛大臣とNATO事務総長との会談(令和2年2月)

【ドイツ】政務次官訪日(10月)、防衛相電話会談(11月)、防衛相会談(令和2年2月)

【イタリア】海幕長イタリア訪問(10月)、空幕長イタリア訪問(令和2年1月)

【ウクライナ】防衛相会談(令和2年2月)

【デンマーク】防衛相電話会談(10月)

【EU】防衛大臣とEU上級代表との会談(令和2年2月)

【中国】防衛相会談(6月、12月)、海幕長訪中(4月)

【ロシア】防衛相会談(5月)、外務・防衛閣僚級会議「2+2」(5月)、陸幕長ロシア訪問(5月)、海軍総司令官訪日(11月)

【パプアニューギニア】副大臣パプアニューギニア訪問(令和2年2月)

【トンガ】副大臣トンガ訪問(令和2年2月)

【フィジー】海軍司令官訪日(9月)、副大臣フィジー訪問(令和2年1月)

【アラブ首長国連邦】統幕長アラブ首長国連邦訪問(6月)、防衛相電話会談(10月、令和2年3月)、空幕長アラブ首長国連邦訪問(令和2年3月)

【イスラエル】統幕長イスラエル訪問(6月)

【イラン】防衛相電話会談(10月、令和2年1月)

【エジプト】統幕長エジプト訪問(6月)

【オマーン】防衛相電話会談(10月)、防衛相会談(12月)

【サウジアラビア】防衛相電話会談(10月、12月)

【カタール】防衛相会談(5月、12月)、防衛相電話会談(12月)

【トルコ】陸軍総司令官訪日(6月)、国防大臣訪日(7月)

【バーレーン】防衛大臣と国軍司令官電話会談(10月)、防衛大臣と国軍司令官会談(11月)

【ヨルダン】大臣ヨルダン訪問(12月)

【スリランカ】副大臣スリランカ訪問(7月)

【ブラジル】陸軍司令官訪日(7月)

【モンゴル】防衛相会談(12月)

【ジブチ】防衛相会談(12月)

【ジャマイカ】防衛相会談(12月)

元年度

二国間・多国間における防衛当局間の定期協議など

元年度

- 令和元年度においては、以下のとおり協議等を実施した。
- 【オーストラリア】日米豪安全保障・防衛協力会合(5月)、
- 【インドネシア】第9回日インドネシア防衛当局間協議(8月)
- 【ベトナム】第7回日ベトナム戦略的パートナーシップ対話(6月)、第7回防衛次官級会合(11月)
- 【フィリピン】第8回日フィリピン外務・防衛当局間協議(6月)、日フィリピン防衛当局間協議(6月)、第6回日フィリピン次官級協議(11月)
- 【カンボジア】第5回日カンボジア外務・防衛当局間協議(12月)、第6回日カンボジア防衛当局間協議(12月)
- 【ラオス】第3回日ラオス安全保障対話(令和2年3月)
- 【韓国】日米韓防衛実務者協議(5月)
- 【カナダ】第11回日カナダ外務・防衛当局間協議(12月)、第12回日カナダ防衛当局間協議(12月)
- 【ニュージーランド】第12回日ニュージーランド防衛当局間協議(9月)
- 【ドイツ】日独政務局長級外務・防衛当局間協議(11月)
- 【イタリア】第6回日イタリア防衛当局間協議(令和2年2月)
- 【スペイン】第3回日スペイン防衛当局間協議(6月)
- 【ウクライナ】第1回日ウクライナ防衛当局間協議(9月)
- 【フィンランド】第3回日フィンランド防衛当局間協議(9月)
- 【中国】「日中防衛当局間の海空連絡メカニズム」に関する第2回年次会合・専門会合(令和2年1月)
- 【ヨルダン】第1回日ヨルダン外務・防衛当局間協議(7月)
- 【パキスタン】第10回日パキスタン防衛当局間協議(6月)
- 【モンゴル】第5回日モンゴル外交・防衛・安全保障当局間協議(4月)、第5回日モンゴル防衛・安全保障当局間協議(4月)

二国間・多国間における部隊間の交流行事を通じた相互の信頼・協力関係の充実・強化の推進

元年度

- 令和元年度においては、以下のとおり親善訓練を実施した。
- ・日マレーシア親善訓練(4月、5月、9月)
- ・日インドネシア親善訓練(5月)
- ・日中親善訓練(10月)
- ・日タイ親善訓練(令和2年1月)
- ・日ブルネイ親善訓練(6月)
- ・日オマーン親善訓練(9月、12月)
- ・日モルディブ親善訓練(4月、7月)
- ・日バングラデシュ親善訓練(10月)
- ・日ベトナム親善訓練(6月)
- ジブチ軍に対する災害対処能力強化支援(10月～12月)

二国間における留学生の交換

元年度

- 令和元年度は以下のとおり留学生の交換を実施した。特に、令和元年度においては、統合幕僚学校国際平和協力センターの課程において、初めて、エチオピア、ヨルダン、南アフリカからの留学生の受入を実施した。
- 留学生の受け入れ: 令和元年度は、主にアジア・太平洋地域諸国から、合計104名の留学生を新規に防衛省・自衛隊教育機関に受け入れた。内訳は以下のとおり。(タイ10名、フィリピン2名、インドネシア5名、シンガポール1名、ベトナム9名、カンボジア3名、東ティモール3名、ラオス2名、ミャンマー1名、インド6名、パキスタン9名、韓国11名、モンゴル5名、豪州6名、米国10名、ドイツ2名、フランス8名、カナダ1名、メキシコ1名、スペイン1名、カタール1名、スリランカ2名、イタリア1名、エチオピア2名、ヨルダン1名、南アフリカ1名)
- 諸外国への留学: 令和元年度、諸外国へ新規に留学した自衛隊員は合計127名であり、その内訳は以下のとおり。(米国116名、英国2名、ドイツ1名、フランス1名、イタリア2名、韓国1名、豪州1名、インド1名、カタール1名、カナダ1名)

二国間・多国間における研究交流

元年度

- 米、韓、中、露、豪、印、パキスタン、東南アジア、欧州、カナダ、北欧及びバルト諸国等の研究機関との二国間あるいは多国間での教育・研究交流を継続したほか、交流の充実・強化として、政府機関や軍も相手方としつつ、以下の取組みを実施した。
- ①中国人民解放軍軍事科学院との戦略対話を東京で実施。
- ②中央アジア諸国との研究交流としてトルクメニスタンを訪問し、軍アカデミーなどで意見交換を実施。
- ③中国国際戦略研究基金会との研究会を東京で開催。
- ④NATO国防大学等校長会議に参加。
- ⑤フランス軍事学校戦略研究所に防研研究者を派遣。
- ⑥ブルガリア共和国国防副大臣を受け入れ、ロシア及び中国等を含む国際情勢について意見交換を実施。
- ⑦マレーシア国防副大臣を受け入れ、インド太平洋における諸情勢について意見交換を実施。
- ⑧ドイツ連邦共和国国防政務次官を受け入れ、欧州及びインド太平洋情勢について意見交換を実施。
- ⑨インドネシア国家強靱性研究所(レムハンナス)所長を受け入れ、両機関の交流の方向性などについて意見交換を実施。
- ⑩駐日エストニア、ラトビア、フィリピン、ノルウェー、リトアニア及びミャンマー大使を受け入れ、地域情勢などに関して意見交換を実施。
- ⑪日比防衛研究交流として研究者2名を派遣し、フィリピン国防大学で研究会を実施したほか、政府機関・シンクタンクなどを訪問し意見交換を実施。
- ⑫引き続き、NATOサイバー防衛協力センター(CCDCOE)に防研研究者を派遣。
- ⑬中国人民解放軍国防大学研修団26名を受け入れ、地域情勢等について意見交換を実施。
- ⑭東南アジア交流として、インドネシア及びタイに研究者2名を派遣。
- ⑮ARF国防大学等校長会議に副所長以下3名を派遣。
- 防研主催の国際会議に諸外国の研究機関から講演者等を招へいた。
- ①国際シンポジウム: 5カ国の大学・研究機関から6名の研究者を招へいして開催。
- ②ASEANワークショップ: 東南アジア4カ国の大学・研究機関から4名の研究者を招へいして開催。
- ③グローバル安全保障セミナー: 米国から1名の研究者を招へいして開催。

多国間における安全保障対話等

元
年
度

- 拡大ASEAN国防相会議(ADMMプラス)関連会合
- ・ 閣僚会合(11月)、高級事務レベル会合(ADSOMプラス)(4月)、高級事務レベル会合作業部会(ADSOMプラスWG)(令和2年1月)、専門家会合(対テロEWG)(4月、6月、9月、10月、12月)、人道支援・災害救難EWG(4月、7月、10月)、海洋安全保障EWG(5月、9月)、防衛医学EWG(10月)、平和維持活動EWG(9月)、地雷処理EWG(9月、12月)、サイバーEWG(5月、8月、10月)
- ASEAN地域フォーラム(ARF)国防当局間会合(5月)
- パシフィック・パートナーシップ(3月~5月)
- 民間機関主催
- ・ IISSアジア安全保障会議(シャングリラ会合)(5月)、IISS地域安全保障サミット(マナーマ対話)(11月)、ドoha・フォーラム(12月)、IISSフラートン・フォーラム(令和2年1月)、ミュンヘン安全保障会議(令和2年2月)
- 防衛省・自衛隊主催等
- ・ 日ASEAN防衛担当大臣会合(11月)、日ASEAN防衛当局次官級会合(10月)
- 各国国防当局主催
- ・ ソウル・ディフェンス・ダイアログ(9月)

担当部局名

防衛政策局、人事教育局、統合幕僚監部

政策評価
実施時期

令和4年8月